

単元名 **わが国やアジア地域の多様で豊かな声による表現を鑑賞しよう** 配当時間 **2時間**

単元の目標 (1) 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の声による表現の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解することができる。
 (2) 我が国やアジア地域の歌唱表現の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解したり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、我が国やアジア地域の声による表現のよさや美しさを味わって聴くことができる。
 (3) 鑑賞に関わる知識を得たり生かしたりしながら、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習に主体的・協働的に取り組もうとする。

標準的な展開例

10260302_001

【教材名】日本とアジアの声によるさまざまな表現

(P. 54～P. 55)

【準備等】鑑賞音源、タブレット

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 「天台声明」「八木節」「江差追分」を視聴し、表現の仕方などを確認し、特徴を聴き取りまとめる。 ★「天台声明」「八木節」「江差追分」を聴いて、特徴をまとめよう。 ○「天台声明」「八木節」「江差追分」を視聴し、表現される場所や場面、表現の仕方などを確認する。</p> <p>○「天台声明」「八木節」「江差追分」の表現の特徴を聴き取りまとめる。</p> <p>2 「ケチャ」「ホーミー」「布農（ブヌン）族の合唱」を視聴し、表現の仕方などを確認し、「天台声明」「八木節」「江差追分」と比較しながら特徴を取りまとめる。 ★「ケチャ」「ホーミー」「布農（ブヌン）族の合唱」を聴いて、特徴をまとめよう。 ○「ケチャ」「ホーミー」「布農（ブヌン）族の合唱」を視聴し、表現の仕方などを確認する。</p> <p>○「天台声明」「八木節」「江差追分」と比較しながら、表現の特徴を取りまとめる。</p>	<p>・必要に応じてインターネットを活用したり、補足説明を加えたりする。 気付いた点は発表し、学級全体で意見交流させる。</p> <p>・声の出し方、拍節の現れ方、声や伴奏との合わせ、表現される場所や場面、その他に気がついたこと、の項目で整理しながら聴き取り内容を発表して交流させる。 【評】それぞれの表現の特徴を聴き取りまとめる活動を通して、「知識」を評価する。</p> <p>・表現される場所や場面、表現の仕方など気がついたことを発表させ、ワークシートにまとめさせる。 必要に応じてタブレットを用いてインターネットを活用したり補足説明を加えたりする。 【評】音楽の多様性を理解しながら表現の仕方などをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・それぞれの特徴から共通性などを考え、ワークシートを整理する。 【評】比較しながらそれぞれの特徴を取りまとめる活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>

【 備 考 】

本単元では、「天台神明」「八木節」「江差追分」を教材にして、声の出し方や合わせ方、伴奏の楽器との関係などからそれぞれの特徴を聴き取る。また、アジア地域の声による表現として「ケチャ」「ホーミー」「布農（ブヌン）族の合唱」と比較し、表現の共通性や固有性から多様性を理解しながら鑑賞する。そして、人々の暮らしとどのように関わっているかを考え、日本とアジア地域の音楽や芸能の豊かさを味わう。

【共通事項】音色・リズム・速度・旋律・テクスチャ・強弱・構成